

第16回年次大会 研究発表 募集要項 (Call for Papers)

2024年8月19日
日本海洋政策学会
年次大会実行委員会

学会員の皆様が一堂に会し、対面とオンラインのハイブリッド形式で海洋政策に関する様々な議論を行う年次大会を開催いたします。学会員の皆様から以下の通り発表を募集致しますので、奮ってご応募下さい。

- 開催日時：12月21日（土） 9：30開始
- 会場：東京大学小柴ホール、およびZoom ウェビナー
- プログラム：基調講演、口頭発表、パネルディスカッション、ポスター発表
- 統一テーマ：資源の利活用と海洋保全
- パネルディスカッション：洋上風力発電の振興をめぐる論点と政策的課題

【開催の趣旨】

第4期期海洋基本計画に基づき、「新たな海洋立国（海洋基本法第1条）」の実現にむけた様々な施策が進められている。本年4月には、世界第6位の広大な管轄海域が有するポテンシャルを最大限に活用し国益につなげていくための具体的な戦略として、「海洋開発等重点戦略」が決定された。そこでは、現行海洋基本計画の二つの支柱（I. 総合的な海洋の安全保障、II. 持続可能な海洋の構築）を見据え、安全保障・経済安全保障の強化、経済成長への貢献、社会的課題の解決への貢献、社会実装・産業化・国際展開等の観点から、府省横断で取り組むべき重要ミッションが選定され、その推進のための基本方針や目標等も定められた。

3月には「海洋エネルギー・鉱物資源開発計画」が改定され、そこでは従来の海洋エネルギー・鉱物資源に関する計画のみならず、カーボンニュートラルの実現との両立に向けた新たな分野としてCCSに関する計画も追加された。また5月には「第6次環境基本計画」が閣議決定され、気候変動、生物多様性の損失、汚染という地球の3つの危機に対処しつつ新たな成長を実践・実装するための「循環共生型社会」に向けた諸施策がまとめられている。

以上のような政策の展開を踏まえ、今年の年次大会では、**海洋エネルギーや鉱物資源を含めた様々な海洋資源について、その開発及び利用と海洋環境の保全との調和に関する分析・考察**を行った発表を中心に募集する。さらにパネルディスカッションでは、**産業振興段階に入りつつある洋上風力発電を取り上げる**。本年3月に閣議決定された「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律の一部を改正する法律案」の概要や、実際の開発が進んでいる先進現場での議論、その解決のための工学的課題や、地域との合意形成に向けた取り組み、さらには安定的な産業振興のための保険・ファイナンスなど、総合政策的観点からの議論を試みる。

1 個別研究発表のテーマ、タイトル等について

今年次大会の統一テーマは『資源の利活用と海洋保全』としますが、個別の研究発表は、必ずしもこれのみにこだわる必要はありません。海洋基本法および第4期海洋基本計画や「国連の持続可能な開発目標（SDGs）」、「国連海洋科学の10年（UNDOS）」に関連したテーマを中心に、日常の学術的な研究を基礎におきつつ、総合的な海洋政策の形成を視野においた研究発表を受け入れます。個別学会では取り上げられにくい提言や大学院生などの論文も歓迎します。

また、発表の時点で日本海洋政策学会の会員であることは必ずしも要しません。発表申込の有無にかかわらず、この機のご入会をお願い申し上げます。

2 口頭発表（発表15分、質疑5分：予定）

(1) 形式、文字数等

研究発表に応募する場合は、応募フォーマットを利用して**アブストラクトを提出**してください。アブストラクト本文原稿は、**日本語または英語**で、A4判、横書き、1,000字以内、図表類は字数に含まず1点まで。Word形式で、フォント、行数および1行の字数は適宜、設定してかまいません（例：40字×25行で1,000字に相当）。

(2) 応募フォーマット記入要領

- ・タイトル
- ・発表者の氏名（漢字にはふりがなを付ける。連名の場合は、発表予定者を第1執筆者として表記）
- ・所属および職名
- ・連絡先（電話番号およびe-mailアドレス）
- ・発表希望 口頭発表かポスター発表を選択

(3) 応募資格

年齢、性別、住所（居住地）、国籍、本学会の会員・非会員を問いません。ただし年次大会での発表時の通訳等は準備しておりません。

(4) 提出方法

9月20日(金)12:00必着で、Word原稿を添付ファイルで下欄記載の日本海洋政策学会事務局にメールにて提出してください。

(5) 採用審査及び発表

採用審査は、アブストラクト審査方式とします。第16回年次大会実行委員会に設置する審査委員会で、アブストラクト内容を審査し、10月下旬までに審査結果

を本人に通知するとともに、採択分については開催前に公表予定のプログラムに掲載します。採択分については、提出アブストラクトに基づき、当日発表用のプレゼン資料を別途、準備していただきます（発表要領は採択通知以降に別途通知します）。

また提出されたアブストラクトを予稿集に掲載し参加者に配信いたします。

(6)複数応募の件

発表者としての応募は、一人1件まで、ただし共同著作名での複数応募は可。

3 ポスター発表（発表及び意見交換含め30～40分：予定）

今回会場ロビーにてポスター・セッションを行いますので、ポスター発表も同時に募集をいたします。ポスター発表に応募の場合も、研究発表と同様に、アブストラクト（上記2(1)(2)を参照）を提出していただきますが、ポスターに収録予定の要約文や図表類等を中心とした内容でも結構です。

提出方法や採用審査・発表等は上記研究発表と同じです。提出いただいた発表資料をアブストラクトと共に当日配布資料 pdf に収録予定です。

採択された場合は、A0サイズ1枚に、冒頭にタイトル、次行に発表者の氏名・所属等を記載し、発表内容の要旨を集約、整理して作成いただきます。

年次大会当日ご自身で貼り出していただきますが、詳細は別途、通知します。

なお、ポスター・セッションについては、最終プログラムで”コア・タイム“の指定がなされた場合には、ポスター発表者はその時間帯は必ずポスター前で閲覧者との対応をするようにしていただきます。

4 審査による発表形式の変更について

審査により採択された場合、ご希望の発表形式からの変更のお願いもありますのでご了解ください。（例：口頭発表からポスター発表への変更、またその逆）

5 費用その他

発表に関しての応募費用はかかりませんが当日の参加費が必要となります。

<本件に関する問い合わせ先およびアブストラクト等提出先>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 笹川平和財団ビル6階

日本海洋政策学会事務局

E-mail : office@oceanpolicy.jp URL : <https://oceanpolicy.jp>

注：事務局は、原則毎週月曜日と木曜日の週2日、10時から17時の勤務となっております。対応に時間をお掛けする場合があります。